



SPORTS SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT

名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
2020-21シーズン ドルフィンズスマイル活動報告

ご挨拶

名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社
代表取締役常務取締役
山下 雄樹



日頃より名古屋ダイヤモンドドルフィンズにご支援・ご声援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。
2020-21シーズンは新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に直面し、中でもドルフィンズを支えてくださった全ての皆さまに、まずは感謝の意を表したいと思います。

私たちのホームタウン・名古屋市は2019年7月に内閣府より、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた優れた取り組みを提案する自治体「SDGs未来都市」に選ばれました。ドルフィンズでもクラブビジョンの「名古屋の誇り(シンボル)となるドルフィンズ」の実現に向けて2020年より社会的責任イニシアチブ「ドルフィンズスマイル」を立ち上げ、多くの協力・連携機関の皆さまと共にドルフィンズコミュニティが笑顔になれる活動に取り組んで参りました。

中でも、日本プロスポーツ1部所属クラブとして初の試みとなる「スポーツ気候行動枠組み」への署名は、当社としても最重要課題の一つとして取り組むものと位置づけています。ドルフィンズを通じて多くのスポーツファンを巻き込み、気候行動を推進していくという責任は大きいですが、私たちはドルフィンズと地域社会の皆さまが力を合わせれば成し遂げられるものと信じております。

また、地球環境への貢献のみならず、苦しい状況にある人々にスポーツの力で勇気を与え、安心安全な地域社会づくりに貢献するための様々な活動にも注力しており、地域課題やニーズに対応しながら、ファンの皆さまのお声にもお応えする形で、選手も参画し継続的に実施していく予定です。

今後もドルフィンズ・コミュニティの皆さまが笑顔になれますよう、スポーツの力を活用した社会貢献活動に尽力していく所存でございますので、引き続きのご支援ご協力のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。

クラブ方針 NAGOYA DIAMOND DOLPHINS CLUB PHILOSOPHY

VISION

名古屋の誇り(シンボル)となるドルフィンズ。
地域の未来社会に貢献。

MISSION

"Dream of NAGOYA"(名古屋の夢を拓く)
夢を追いかけて、限界を超えるべく、ひた向きに戦う。

ACTIVITY PHILOSOPHY

「DO,RED.」

造語で「赤にする＝赤に染めていく」という意思と、
"DO"lphins REDという2つの意味を込めている。選手・ファン・名古屋の人々・街を、ドルフィンズレッドの「情熱・強さ・勢い」で赤く染めていく、夢の実現を目指す。



ドルフィンズスマイルについて

“Dolphins Smile”は、名古屋ダイヤモンドドルフィンズが、地域への感謝の気持ちとして実施する社会的責任イニシアチブで、「オフコートの3P」をコンセプトに、ドルフィンズコミュニティが笑顔になれるよう、さまざまな社会貢献活動をリードします。

「オフコートの3P」アクション ～PLANET, PEOPLE AND PEACE～

PLANET

ドルフィンズは、世界で重要課題となっている地球環境・気候変動（危機）問題へ一丸となって取り組み、環境に配慮した事業運営に努め、またファンとともに地球環境に貢献するための活動を継続的に実施してまいります。

PEOPLE

ドルフィンズは、地域社会において、弱い立場、苦しい状況にある人々に支援の手を差し伸べ、人権・ダイバーシティ等に関する人的環境の改善に取り組みます。また、経済的・社会的に恵まれない境遇にある子どもたちや、苦しい状況にある人々に笑顔や希望を届け、より多くの方々が健康で豊かな生活を送ることができるようサポートします。

PEACE

ドルフィンズは、地域社会の人々が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。また、防災・減災の意識向上のための活動に従事します。

ドルフィンズ
スマイルの
詳細はこちら



名古屋ダイヤモンドドルフィンズは ドルフィンズスマイルを通じてSDGsに貢献しています

スポーツの力を活用した Planet, People, Peace の3つの分野における「オフコートの3P」アクションを通して、Bリーグ統合と同じ年に採択され、Bリーグ開幕の年に始動したSDGsの達成に貢献し、プロスポーツクラブとしての社会的責任を果たします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGsとは？

SDGsは、「Sustainable Development Goals(サステナブル・デベロップメント・ゴールズ)」の略称で、世界共通の目標として、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17の持続可能な開発目標と169のターゲットが設定されており、いずれも2030年までの達成を目指すものです。

活動内容 PLANET

ホームゲーム会場の飲食容器を脱プラスチック素材へ



2020-21シーズンより、ホームゲーム時の飲食販売に使用するカップ等を環境に配慮した紙製の容器や植物由来原料を25%配合したバイオマスプラスチックカトラリーを使用し、ホームゲーム時の飲食容器の81.9%を脱プラスチック素材へ。環境問題に考慮しプラスチックごみの削減に取り組んでいます。

名古屋市等が主催 SDGsを知り、体感できる「みちにわマルシェ」に参加



2020年11月28日(土)、プロスポーツビジネス研究会の取り組みの一つとして、「なごや環境大学」実行委員会、錦二丁目まちづくり協議会、名古屋市らが主催するSDGsを知り体感できる「みちにわマルシェ」に、プロスポーツビジネス研究会に参加している名城大学の学生が中心となりワークショップを開催いたしました。

※プロスポーツビジネス研究会とは…名古屋ダイヤモンドドルフィンズは名城大学と連携・協力に関する協定を締結し、その一環として、withコロナ時代の社会課題解決をテーマに、「プロスポーツビジネス研究会」を立ち上げました。

「食品ロス」削減へ



10月の「食品ロス削減月間」を機にドルフィンズの選手、クラブスタッフが「まだ食べられるけど余っている食品」を集め、フードバンクへ寄付を行いました。

名古屋市環境局資源化推進室さま

市では食品ロスの削減を推進しており、2か所の拠点及びイベントで定期的にフードドライブを開催するとともに、民間団体様によるフードドライブ開催を呼び掛けています。名古屋を本拠とするプロスポーツクラブによる食品ロス削減に向けた取り組みは、市民の方に関心を持っていただく上で大変意義深いことであるため、活動内容を市公式ウェブサイトにて紹介させていただいております。今後市民の方が気軽にフードドライブに参加できるような動きが広がると嬉しいです。

「スポーツ気候行動枠組み」に署名



2020年12月17日(日)、グローバルスポーツ界がー丸となり気候変動問題に取り組む「スポーツ気候行動枠組み(Sports for Climate Action Framework)」に日本プロスポーツ1部所属クラブとして初めて署名し、UNFCCC(国連気候変動枠組み)より正式に署名団体として登録されました。

PLANET

絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト
「レッドリスト」についてのクイズを実施

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催された名古屋を本拠とするプロスポーツクラブとして貢献できることを行うべく、COP10開催10周年記念事業である「せいかりレー」の登録事業として、2021年2月14日(日)のホームゲームにて、絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト「レッドリスト」についてのオンラインクイズを実施し、啓発活動を実施いたしました。

「アースアワー」に参加



2021年3月27日(土)20:30～21:30の1時間は世界中で同じ日・同じ時刻に消灯することで地球温暖化防止と環境保全の意思を示す「アースアワー」でした。ドルフィンズもSNSで消灯アクションの呼びかけを行いました。

活動内容 PEOPLE

「こころの絆創膏」設置配布



コロナ禍で急増するメンタルヘルスの問題に対応し、名古屋市健康福祉局と連携し、こころの悩みを相談できる窓口を掲載した「こころの絆創膏」と啓発チラシを設置いたしました。また、2021年3月3日(水)に開催されたホームゲームでは「ドルフィンナDAY」と併せて名古屋市の協力のもと、女性のための相談案内ブースを設置いたしました。

※ドルフィンナDAYとは…3月8日の「国際女性の日」に近いホームゲームをドルフィンナDAY(ドルフィンナ=ドルフィンの女性ファンの総称)として女性に喜んでいただける企画を実施する日。

名古屋市健康福祉局健康部健康増進課さま

3月のドルフィンナDAYでは、たくさんのファンの皆さまに「こころの絆創膏」を案内させていただき誠にありがとうございました。日頃より「ドルフィンズスマイル」を掲げ、地域貢献意識の高いクラブの方々およびファンの皆さまに会場で直接に接し、皆さまが自分事のようにご家族やお友達をはじめ、周囲の方の幸せをととても大切に考えていらっしゃることを感じることもできました。

選手が定時制高校の
オンライン授業に参加

昼間・夜間の定時制課程のある名古屋市立中央高等学校 バスケットボール部のみなさんのキャリア教育の一環として、生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を身に付けてもらうべく、中務敏宏選手が「チームワーク」についてオンライン座学を行いました。



PEOPLE

オレンジリボン運動

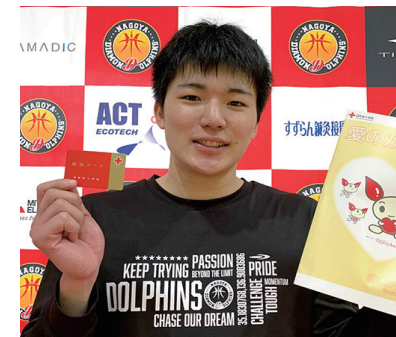


11月の「児童虐待防止推進月間」には、虐待され悲しい思いをしている子どもたちを1人でも多く救いたいという思いから、Dolphins Smile活動の一環として、名古屋市と連携し、2020年11月11日(水)に開催されたホームゲームにてオレンジリボン運動をはじめとした虐待防止のための啓発活動を実施しました。

名古屋市役所子ども青少年局子育て支援部 子ども福祉課さま

児童虐待相談の対応件数は高い水準で推移しており、その対策は大きな課題となっています。児童虐待の発生予防や早期発見・早期対応のため相談窓口や通告先を知っていただくこと、また、皆で育児を支えるという気持ちが重要ですが、ドルフィンズの選手による呼びかけにより、会場にお越しいただいたファンの皆さまに児童虐待について関心を持っていただくことができました。

献血呼びかけ



愛知県赤十字血液センターと連携し、献血の呼びかけに協力いたしました。2020年12月1日(火)～26日(土)の期間、献血ルームゲートタワー26にてドルフィンズのユニフォームや選手のプレー写真などの展示を行い、期間中に献血にご協力いただいた方には試合観戦特別クーポンをプレゼントいたしました。

愛知県赤十字血液センターさま

コロナ禍で献血にお越し頂ける方が減少する中、また、今まで献血されたことがない方にも広く献血を知ってもらえないかと考えていた中、地域と連携して活動されている名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様にご快諾いただき、様々な方法でご協力いただいた結果、多くの反響をいただき、献血協力していただいた方が大幅に増加いたしました。ぜひ今後も、このコロナ禍でも気持ちが明るくなるような取り組みと一緒に続けさせていただければ幸いです。

ヘルプマーク
啓発活動

毎年12月3日から9日までの期間に定められている「障害者週間」に合わせて、12月9日(水)に開催されたホームゲームにて、名古屋市と連携しヘルプマークの普及啓発活動を実施いたしました。



名古屋市役所健康福祉局障害福祉部障害企画課さま

現在、地下鉄・バスなどの公共交通機関の優先席にマークが掲示されるなどヘルプマークを目にする機会は増えていますが、ヘルプマークの意味の周知、さらには、ヘルプマークを必要としている方々への正しい理解も重要なものと考えています。今回のドルフィンズでの普及活動では、来場された皆さまへのヘルプマークに対する理解のきっかけになったものと感じています。

PEOPLE

赤い羽根募金



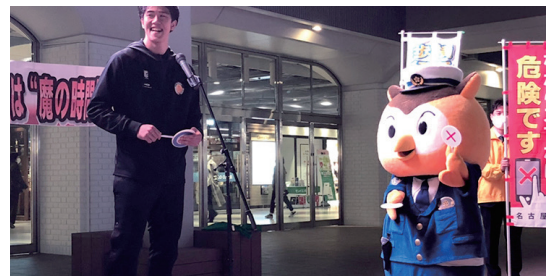
ドルフィンズは2020-21シーズンより「あいち赤い羽根応援団」に登録いたしました。その取り組みのひとつとして、12月の寄付月間に合わせ、2020年最後のホームゲームとなる12月20日(日)に開催されたホームゲームにて、愛知県共同募金会と連携し赤い羽根共同募金を実施し、募金総額26,854円が集まりました。皆さまからお寄せいただいた募金は、社会福祉法人愛知県共同募金会を通じて、県内の子どもたちの課題解決・支援を目的に活用させていただきます。

社会福祉法人愛知県共同募金会さま

1947年から始まった赤い羽根共同募金ですが、継続して活動を展開していくためには、若い世代に関心を持っていただくことが課題となっております。今回、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様と協働させていただき、本会が運営するSNSでは大変多くの反響がありました。若い世代へのアプローチとして、大変有意義な活動の場を提供していただいたと感謝しております。

活動内容 PEACE

交通安全運動



2020年11月5日(木)久屋大通公園メディア広場にて、中警察署、昭和警察署及び天白警察署協力のもと小林遥太選手が交通安全キャンペーンに参加し、啓発活動を行いました。

防災クリニクの実施



東日本大震災から10年を迎える2021年、B.LEAGUEでは「B.Hope HANDS UP! PROJECT supported by 日本郵便」を発足し、2021年3月6日(土)から14日(日)を「HANDS UP! WEEK」に設定し、全国でのバスケットボールクリニックを通した防災知識の普及啓発活動に取り組みました。また、より多くのファンに命を守るための大切な情報を届けるため、選手からのSNSでのメッセージ動画の公開等の展開もいたしました。ドルフィンズでは、3月9日(火)、11日(木)小学校3～4年生を対象としたドルフィンズバスケットボールスクールにて、バスケットを楽しみながら防災行動を学ぶ「DEFENSE ACTION」の中から「ファーストアクション」を実施いたしました。

協力・連携機関一覧

ドルフィンズスマイルの活動は、企業・団体様のご支援ご協力により実施しております

※各カテゴリ、プロジェクト実施順

【行政機関等】

- ・名古屋市環境局ごみ減量部資源化推進室(フードロス)
- ・名古屋市健康福祉局健康部健康増進課(こころの絆創膏)
- ・名古屋市役所子ども青少年局子育て支援部子ども福祉課(オレンジリボン)
- ・中警察署、昭和警察署及び天白警察署 交通課(交通安全運動)
- ・「なごや環境大学」実行委員会、名古屋市(みちにわマルシェ)
- ・名古屋市役所健康福祉局 障害福祉部障害企画課(ヘルプマーク)
- ・東山動植物園(レッドリスト)

【教育機関】

- ・名古屋大学大学院環境学研究科
- ・名古屋市立中央高等学校(オンライン授業)

【NPO・地域団体】

- ・NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク事務局(オレンジリボン)
- ・錦二丁目まちづくり協議会(みちにわマルシェ)
- ・愛知県赤十字血液センター 名古屋駅前出張所(献血)
- ・社会福祉法人愛知県共同募金会、東区社会福祉協議会(赤い羽根共同募金会)

【その他】

- ・公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(DEFENSE ACTION)

主なメディア掲載一覧

【脱プラスチック、UNFCCC署名】

The Japan Times

<https://www.japantimes.co.jp/sports/2021/02/10/basketball/b-league/diamond-dolphins-climate-change/>

Alterna サステナブル・ビジネス・マガジン

<https://www.alterna.co.jp/35446/>

中日新聞

<https://www.chunichi.co.jp/article/192644>

日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODH222540S1A520C2000000/>

Sports for Social

<https://sports-for-social.com/?p=2936>

47NEWS

<https://www.47news.jp/5775262.html>

〈主催者等による活動掲載〉

【交通安全運動】

一般財団法人愛知県交通安全協会ホームページ

<https://www.aichi-ankyo.jp/publics/index/61/>

【食品ロス削減】

名古屋市ホームページ

<https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000096920.html>